

(様式3)

事業所名 グループホームはらどおり

作成日: 平成27年 6月 24日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在は対象者はいないが、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいく為に全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解していく必要がある	1～2回/年、身体拘束についての研修会や勉強会の機会を持ち、全ての職員が正しい知識を持ち、理解できるようにする	10月に「介護現場における虐待防止、身体拘束廃止に向けて」の講習会を予定しており、職員みんなで身体拘束をしないケアについて学ぶ	4ヶ月
2	7	管理者や職員は高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待を見逃がしたりしないように防止に努める必要がある	全ての職員が虐待防止に関して学ぶ機会を1～2回/年持ち、研修会や勉強会に参加して正しい知識を持ち、理解できるようにしていく	10月に「介護現場における虐待防止、身体拘束廃止に向けて」の講習会を予定しており、職員みんなで高齢者虐待防止について学ぶ	4ヶ月
3	23	ご家族様の意向などの支援経過記録の記入が確定されていない部分がある。また、ファイリングされていない部分があり、他の職員との間で情報の共有ができていない	ご家族様の意向や連絡状況など支援経過記録に記入する、定期的にファイリングを行い、職員間にて情報の共有ができるようにする	ご家族が来所された時や事前に連絡を行い、今後の意向やサービス内容を支援経過に記入し、定期的にファイリングを行う。居室担当者をはじめ、職員間にて情報を共有する	6ヶ月
4	24	フェイスシート等の作成日の記入モレがみられる。記入日があいまいだと今後の業務の見通しもたないといった問題がある	作成日の記入は間違いなく行う。次回作成日ははっきりさせ、計画にそって行う	作成日の記入を間違いなく確実にを行う。次回作成日を明確にし、必ず計画にそって行う	6ヶ月
5	26	アセスメントやプラン作成、サービス担当者会議、モニタリングといった一連の流れがあいまいであり、サイクルを合わせていく必要がある	一連の流れのサイクルを合わす。順序にそって進めていく	認定日に合わせモニタリング、アセスメント等を行い、プラン作成前にサービス担当者会議を開催して一連の流れを進める	6ヶ月